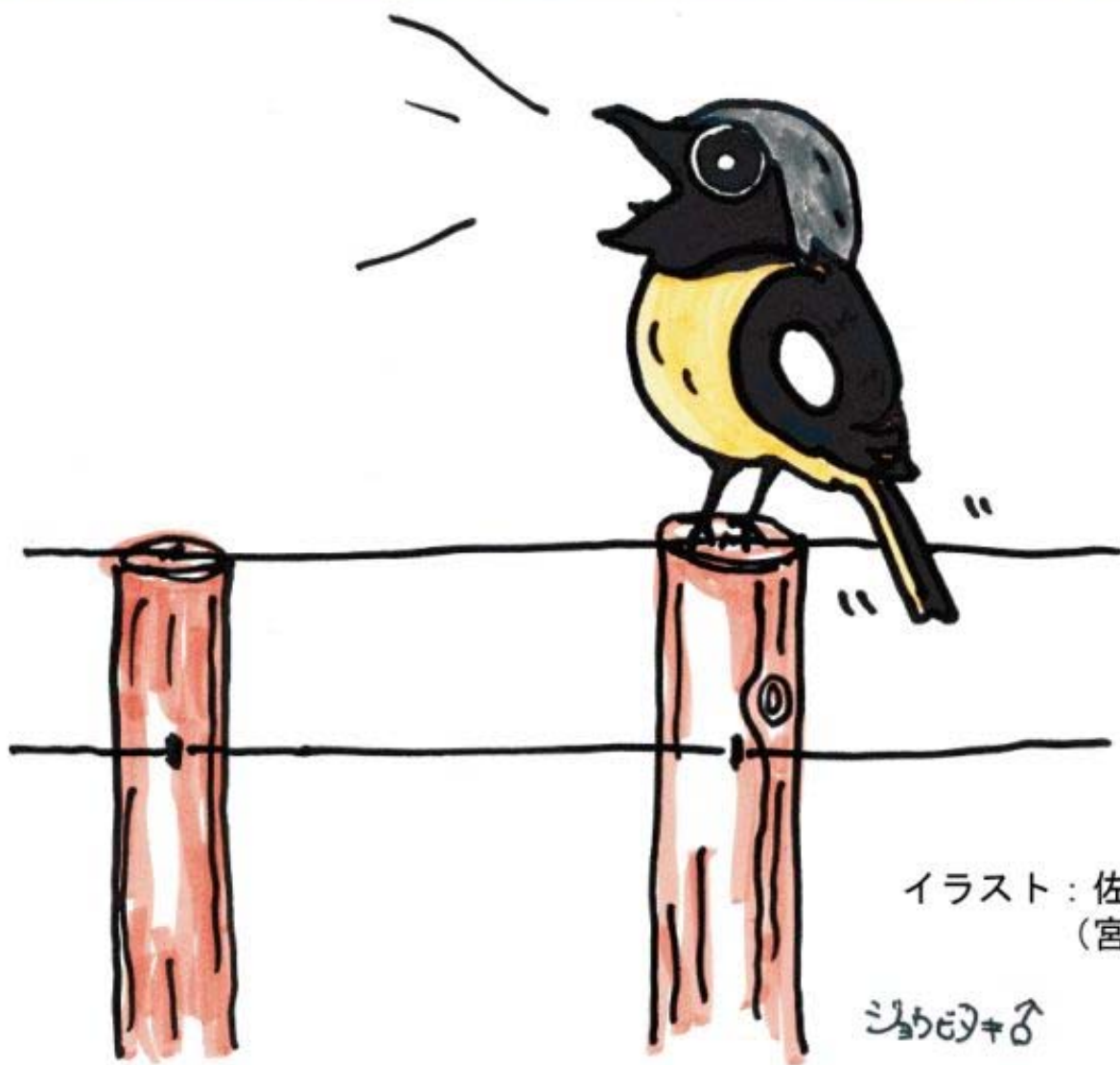


仙台市太白山自然観察の森情報誌

No. 219

11月 森のおくりもの

2009年 11月号



イラスト：佐藤博美
(宮城野区)

ツルビキ♂

秋も終盤をむかえ、動物たちも来る冬に向けておさおさ準備に怠りは無いと思う。一冬を過ごすだけの栄養や餌を十分確保する作業だけでも大変だと思うが、今年の太白山の恵みは十分だったのか心配している。常連さんが話していたのは、なんとなく山が乾燥しているようだ、いつも7月、8月ごろは姿を見せないカケスが観察された等人知の及ばないところで変化が表れ始めているのかも知れない。神様も戻ってこられたことだし、師走にならないうちに平穩を祈っておこう。

(武智)

まっかだなあ まっかだなあ♪ 観察の森のカエデ

紅葉や黄葉した木々が光を浴びて美しい♪観察の森からお届けする11月の生き物図鑑。今回は観察の森でみられるカエデの仲間をご紹介します☆

【観察の森でよくみられるカエデの仲間】



ウリハダカエデ
山に生える落葉高木。若木の幹は、緑色に黒い縦筋が入りスイカのように。



イタヤカエデ
葉の縁に鋸歯がないカエデで、高木になる。日本には8亜種が認められ、イタヤカエデはその総称的な名。



ミツデカエデ
山の川沿いに生える落葉高木。雌雄異株。カエデらしくない!?カエデ。



ハウチワカエデ
山の谷沿いに生え、高木になる。芽吹いた直後は白いむく毛をかぶっていて、感触はぬいぐるみのよう。



コハウチワカエデ
ブナやミズナラの森に生え、高木になる。ハウチワカエデの約半分の葉。

【観察の森でこれまでに確認されたカエデの仲間】

- ・オオモミジ
- ・ヤマモミジ
- ・チドリノキ
- ・ミツデカエデ
- ・カジカエデ
- ・カラコギカエデ
- ・ハウチワカエデ
- ・イタヤカエデ
- ・オニイタヤ
- ・ウラゲエンコウカエデ
- ・メグスリノキ
- ・ウリハダカエデ
- ・コハウチワカエデ

カエデの仲間は日本に約30種類あり、観察の森ではこれまでの調査で13種類のカエデが記録されています。カエデという名前は、葉の形がカエルの手の形に似ていることから、「カエルデ」がなまって、「カエデ」になったと言われています。カエデの仲間を見分けるポイントは、①葉も枝も必ず同じところから向かいあってのびること（対生）②翼をもった種子（翼果）をつけることの2点です。これさえ分かれば、葉が落ちた冬でもカエデの仲間を見分けることができます！自然観察の森の秋を彩る♪カエデの仲間に出会いにいらしてみませんか？

【文・イラスト：咲間】

ク イ ス ?

【もんだい】 イタヤカエデの種(たね)は、次のうちどれでしょうか？

(A)



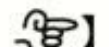
(B)



(C)



(??『翼をもった種』って、どんな種でしょう??)

【答えは、5ページ 



11月の生き物リスト



今年はドングリの当たり年らしく、フィールドを歩くとコナラ、クヌギなどいろんな種類の木の実がたくさん目につきます。昨年が不作だったためか、動物たちにとってはうれしい秋のようです。

紅葉も日に日に色濃くなり、冬鳥も少しずつ渡ってきているようです。今回は昨年のデータに基づいて11月に観察できる野鳥たちをランキング形式でまとめて見ることにしました。是非この秋のバードウォッチングの参考にしてください。

【文・イラスト：齋】

昨年の11月に 森で見聞きできた野鳥たち ランキング

❄️ 冬にだけ観察の森で見ることのできる鳥

1位	シジュウカラ	20回	13位	カワラヒワ	6回
2位	ヤマガラ	19回	13位	ルリビタキ	❄️ 6回
2位	ヒヨドリ	19回	19位	キジバト	4回
4位	ガビチョウ	14回	19位	アオゲラ	4回
5位	エナガ	13回	19位	キクイタダキ	❄️ 4回
6位	コゲラ	12回	22位	スズメ	3回
7位	ハシブトガラス	11回	22位	カシラダカ	❄️ 3回
8位	アオジ	❄️ 10回	24位	マヒワ	❄️ 2回
9位	カケス	9回	24位	ウソ	❄️ 2回
9位	ウグイス	9回	26位	アトリ	❄️ 1回
11位	ヒガラ	❄️ 8回	26位	カワセミ	1回
12位	ハクセキレイ	7回	26位	メジロ	1回
13位	モズ	6回	26位	ツグミ	❄️ 1回
13位	ジョウビタキ	❄️ 6回	26位	セグロセキレイ	1回
13位	トビ	6回	26位	ノスリ	1回
13位	ホオジロ	6回	26位	アオサギ	1回

※ 4位に入ったガビチョウは本来、日本にいる鳥ではなく中国から輸入された固体がかご抜けにより定着したもの。国内では留鳥として南東北、関東・九州にて確認されている。外来生物法で特定外来生物に指定。日本の侵略的外来種ワースト100選定種。

みんなで自然観察

イベント報告

太白山の秋を感じて

10月24日、親川麗子さん（自然観察指導員）を講師に招き、みんなで秋の自然観察を楽しみました。親川さんは、生命と物質の循環を強く意識しながら、自然を見つめる方の方です。何度も、「土に還り新しい命になる」という言葉で話が結ばれたのが印象的でした。この日は、であいの道から太白山の山頂を目指しました。今年はドングリが豊作で、いたる所にたくさんのドングリが落ちていました（去年は不作でした）。ドングリ拾いは、大人になっても楽しいものです。みんな夢中で拾いました。コナラのドングリが中心ですが、クヌギもたくさんありました。コナラやクヌギがたくさんあるのは、人が森（雑木林）の手入れをしているからで、もともとはモミとイヌブナが中心の、うっそうとした暗い森だったそうです。そして、人が手入れをすることで森が適度に明るくなり、カタクリなどの草花や、チョウなどが住みやすい環境となるそうです。だから、人が好きな生き物もたくさんいるかもしれません。途中、ヤブムラサキ、オトコヨウゾメ、オオバクロモジ、バイカツツジなどの樹木について、山頂では、クマやシカとの付き合い方などについてのお話をしていただきました。それから、最近増えている樹木の害虫（カツラマルカイガラムシ、カシノナガキクイムシ）についてのお話もありました。いつも見ている樹木に異変が起きていないか、みんなで注意しながら自然観察しましょう！



親川麗子氏

虫に食われたドングリも無駄じゃないんです。土に還って、新しい命になるんですよ。



クヌギ



コナラ



ミズナラ

自然観察の森で一番多いのがコナラ。クヌギはやや少ないですが、ヨシの湿地周辺（イ5～イ7）に落ちています。ミズナラはもっと少ないですが、あきつの道（エ2付近のエ1寄り）や太白の道に落ちています。

【文・イラスト: 林】

11月館長の独り言

事務所の席からガラス窓を通して青空をバックに見えるジョロウグモが最近はやたらと太って見える。最初は小さくて、他のクモに食べられてしまうのではないかと心配していたがなかなかの貴族である。さまざまな虫たちが餌となって彼女をあそこまで太らせたということは、彼女の網を張る場所選定眼が良かったのか、餌となる虫たちが豊富だったのか聞いてみたいところである。

表紙でも書いたように一方ではマイナスの要因がありながら、他方ではプラスの要因があったのか、うまくバランスが取れているのかも知れない。

話は変わるが今、机の上のプラスチック製の虫箱にチョウの幼虫を4頭保護し、観察している。きっかけは9月2日、市道脇のイヌガラシの葉に産卵しているスジグロシロチョウを見つけ、産卵された卵がくっついたイヌガラシの葉ごと観察の為強制保護したのが最初で（その卵は8日孵化、27～30日蛹化、10月3日羽化）、孵化した幼虫のための食草イヌガラシを調達したところたまたま葉にくっついていてのが大きくなって現在に至っているわけである。幼虫からサナギになり、体内でだんだん羽が作られ、頭らしきものが透けて見えるので、どのような種類の蝶が羽化するのか興味があるが、ヤスマツビバナフシのときのように手をかけて成長や変化を観察していると、なんとなく親しみがわいてきて、朝、体色（1頭のサナギは体色が短黄色から褐色になって羽化しないまま死んでいた）の変化が無いのを見ると安心する。

野外では外敵の脅威にさらされながら、成虫となって子孫を残す個体は産卵された卵のうちの少数と思うが、少しでも残っている限り種の存続は計られる。自然とはうまくできているものだといふ今さらながらに感心させられる。

太白山の環境がバランスよく保たれ、利用者の目を、耳をいつまでも楽しませてくれることを願うばかりである。



ジョロウグモ



スジグロシロチョウ（左：蛹、右：成虫）



11月の催し



「紅葉の鉤取山ウォッチング」

自然観察をしながら、
紅葉の鉤取山国有林を歩きます。

11月14日(土)

10:00~15:00

【持ち物】観察用具、雨具など

【定員】20名

申し込み⇒7日9時から電話にて



クイズのこたえ

③ (イタヤカエデの種)

カエデの仲間の種は、果皮の一部が伸びて翼状になった種(翼香)があります。

また、①はオケラの種、②はイヌシデの種です。全て観察の森で見られます!ぜひ観察してみてくださいね。

「ガイドウォーク」

11月のテーマは『森と野鳥たち』です

1日, 8日, 15日, 22日, 29日 (毎週日曜日)

午前の部→10:00~11:30

午後の部→13:30~15:00

★申し込み不要です

自然観察センター前にお集まりください。

まるちゃんのはてな?

モミジ(紅葉)とカエデ(楓)ってどう違うの?と疑問に思ったことはありませんか?

実は、モミジとはカエデの別名であり、植物学上の言葉ではありません。一般には沢山の紅葉する樹を代表してカエデ属が「モミジ」と呼ばれているようです。ちなみに、モミジの語源は紅葉するという意味の動詞「もみづ(紅葉づ)」の名詞「もみち」が転じて、「もみじ」になったと言われています。【笑間】

休館日

2日、9日、16日、24日、30日、

♪森へおいでください♪



宮城交通バス

仙台駅前バスプール7番 または 長町駅前から
山田自由ヶ丘車庫 行きに乗り
公営アパート前 で下車、徒歩15分でセンター



車

国道286号線の山田交差点から太白団地方面へ。
道々の案内板に従って約10分で駐車場へ。徒歩5分でセンター



定期購読のお知らせ

住所・氏名・電話番号と、何月号から希望かを明記のうえ、80円切手12枚を同封して、自然観察センターまでお申し込みください。

2009年11月号(毎月1回5日発行)

発行:(財)仙台市公園緑地協会

編集:仙台市太白山自然観察の森 自然観察センター

〒982-0251 仙台市太白区茂庭字生出森東36-63

TEL: 022-244-6115 FAX: 022-244-6133

*仙台市からのお知らせ:「キッズ百年の杜」のURLにガイドウォークの1年のようすが載っています。→<http://www.kids-100forest.jp/>